

情報共有

4枚

NISA 班

官邸 班

← コスモ 班 TM

NISA 分室 OK

非管理メモ

6/10 (金) 福島地域支援室 18時50分臨時レク概要

<説明内容>

- ①東京電力における「福島原子力事故調査委員会」および「原子力安全・品質会議 事故調査検証委員会」の設置について【資料配付】
- ②福島第二原子力発電所1号機原子炉建屋付属棟における発火の調査結果について【資料配付】
- ③福島第一原子力発電所における当社社員の被ばく線量の評価作業状況について(続報)【資料配付】
- ④福島第一原子力発電所における作業員の作業環境などの改善状況について【資料配付】

※上記のほか、

「滞留水処理装置の試運転延期について」「福島労働局からの是正勧告書の受領について」の2点を【口頭説明】。

<主な質疑>

- Q. 東芝の休憩所の素材(材質)は?また、写真を見ると、同じものが何棟かあるようだが、いくつあるのか?
- A. (いずれについても) 確認する。
- Q. 東芝休憩所前の青い機械のようなものは、何か?
- A. 発電機とコンプレッサー。
(外気が中に入ることがないように) 空気を供給するもの。
- Q. 福島労働局からの是正勧告は、初めてか?
- A. (5/30にも受領しているため) 2回目となる。
- Q. 新規の1名は、3/14に(ヨウ素を)摂取したということか?
- A. 詳細にヒアリングをしたわけではないため、初期の作業期間中間日と仮定し、その場合の値が、160mSv。
- Q. 新規の1名は、何号機の作業員か?
- A. 3、4号機(の当直長)。

以上

本日(6/10)福島地域支援室「20時定例レク」および「22時臨時レク」概要

■6/10(金)20時定例レク概要

<説明内容>

①プラント関連パラメータ(6月10日 18:00現在)【口頭説明】

②「福島第一原子力発電所敷地内における空気中の放射性物質の核種分析の結果について(第七十七報)【資料配付】

③「福島第一原子力発電所付近の海水からの放射性物質の検出について(第七十九報)【資料配付】

④「茨城県沖における海水中の放射性物質の核種分析の結果について(続報5)【資料配付】

⑤「福島第一原子力発電所取水口付近で採取した海水に含まれる放射性物質の核種分析の結果について(6月9日採取分)【資料配布】

⑥「集中廃棄物処理施設周辺 サブドレン水核種分析結果」【資料配布】

⑦「福島第一原子力発電所への大型タンクの輸送状況」【資料配付】

⑧「福島第一原子力発電所 3号機原子炉建屋内の線量調査結果」【資料配付】

⑨「福島第一原子力発電所の状況」【資料配付】

⑩本日の作業状況等について【口頭説明】

【1号機】

- 原子炉への給水系ラインからの淡水の注入について
- T/B地下階、トレンチの水位について
- 原子炉格納容器への窒素封入について
- R/B地下階の水位について
- 代替冷却設備設置工事について

【2号機】

- 原子炉への給水系ラインからの淡水の注入について
- T/B地下階、トレンチの水位について
- 原子炉開口部のT-Halkによるダストサンプリングについて
(明日作業予定)

【3号機】

- 原子炉への給水系ラインからの淡水の注入について
- T/B地下階、トレンチの水位について

【4号機】

- T/B地下階の水位について
- SFP底部支持構造物設置工事について
- R/B内での作業について

【6号機】

- T/B地下階たまり水の仮設タンクへの移送について

【集中廃棄物処理施設】

- プロセス主建屋の水位について
- 雑固体廃棄物減容処理建屋の水位について

【その他】

- 有人による飛散防止剤の散布について
- コンクリートポンプ車、屈折放水塔車による飛散防止剤の散布について
- リモートコントロール重機によるガレキ撤去について
- 大型タンク設置作業について

<主な質疑>

- Q. キュリオン社のセシウム吸着装置の試運転が本日できないとなると、15日の本格稼働は遅れるのか。
- A. 現段階では何とも言えないが厳しい状況。修理内容が分かった段階で見通せると思う。
- Q. ドクターヘリで搬送された作業員の状況は。
- A. 検査中で診断結果についてはまだ連絡が入っていない。
- Q. 3号機の地下水は、R/Bから流出し溜まっているのか。
- A. その通り。
- Q. R/Bに水が溜まっていることで、今後の水処理への影響はあるか。
- A. 水処理については、R/Bに水があることも折り込み済みで影響はない。
- Q. R/Bの水を処理しないと作業は先に進めないのか。
- A. そのようなことは無い。

Q. 3号機建屋は水素爆発が激しかったと思われるか。

A. 建屋内の状態を見ると強い爆風があったと思われる。

Q. 作業員の被ばく線量が計画線量を超えたことについて、想定が甘かったとのことだが、想定をあげていれば良かったということか。

A. 2mSvごとにアラームが鳴る設定であり、退避途中で3回目のアラームがなってしまった。2回鳴ったら戻るのではなく、1回鳴ったら戻るようにするなど作業のやり方を徹底する必要があった。

以上

■6/10(金)臨時レク概要(22:00~)

<説明内容>

①「当社福島第一原子力発電所の緊急時作業における放射線業務従事者の線量限度を超える被ばくに係る原因の究明及び再発防止対策の策定に関する経済産業省原子力安全・保安院からの指示文書受領について」【資料配付】

②作業関係【口頭説明】

- 3号機のダストサンプリング結果について
- 2号機R/B内の環境改善作業について(明日の予定)

<主な質疑>

Q. 保安院からの指示文書は3人目の人に対するものか。

A. 2名に対するもの。

Q. 2名の分について報告すれば良いのか。

A. その通りだが、その間にもう1名も250mSvを超過するようなことがあれば報告することになる。

以上